

報道関係各位

2019年1月11日

**日本の近代建築の象徴”東京駅丸の内駅舎”で開催される
建築イベントに藤森照信特任教授と大内田史郎准教授が登壇
～丸の内駅舎を設計し、工学院大学設立にも貢献した建築家・辰野金吾をテーマに講演～**

工学院大学(学長:佐藤光史、所在地:東京都新宿区/八王子市)の藤森照信特任教授(建築学部)と大内田史郎准教授(建築デザイン学科)が、東京駅丸の内駅舎内にある東京ステーションギャラリーで1月26日(土)に開催される「東京駅で建築講座2」に登壇します。2019年11月に同会場で開催予定の「辰野金吾没後100年記念特別企画展」にちなみ、辰野金吾をテーマに講演します。

建築イベント「東京駅で建築講座2」 概要

- 開催日時** 2019年1月25日(金)、26日(土)、27日(日)
 ※工学院大学関係者の登壇は26日(土)のみ
- 開催場所** 東京ステーションギャラリー2階展示室(東京都千代田区丸の内1-9-1)
- 講演内容**
- 1月26日(土)10:30～12:00
 「辰野金吾と東京駅」
 講演者: 藤森照信(工学院大学建築学部特任教授・江戸東京博物館館長)
 - 1月26日(土)18:00～19:30
 「東京駅のデザインから考える辰野金吾」
 講演者: 大内田史郎(工学院大学建築デザイン学科准教授)
- ※その他の講演者などの詳細については、別紙または下記URLをご参照ください。
 ▶東京ステーションギャラリー「東京駅で建築講座2」特別企画ページ
http://www.ejrcf.or.jp/gallery/exhibition/201901_tokyo.html
 ※どちらの講座もチケットは完売していますが、取材をご希望の場合は、
 工学院大学・広報課までお問い合わせください。

■工学院大学と東京駅のかかわり

東京駅丸の内駅舎(1914年竣工)を設計した近代日本を代表する建築家・辰野金吾は、工学院大学の前身である工手学校設立(1887年)時に中心的役割を担った創立者の一人です。この東京駅丸の内駅舎の創建時の工事では、辰野のもとで工手学校の卒業生らが現場の指揮にあたりました。

東京駅丸の内駅舎の保存・復原工事が完成を迎えた2012年に、工学院大学は学園創立125周年記念事業として「東京駅丸の内駅舎復原模型製作プロジェクト」を実施するなど、工手学校設立当時のつながりは今なお続いています。

- ▶工学院大学ホームページ: <https://www.kogakuin.ac.jp>
- ▶東京ステーションギャラリーホームページ: <http://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

<取材に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課/担当: 樋口・堀口・松本
 TEL: 03-3340-1498/e-mail: gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp